

## どんな人がなれるの？

いま、「食」や「地域」をめぐるさまざまな課題を解決するため、高い経営能力を有し、「食」の付加価値の向上や生産性の向上を進める「食の6次産業化」のプロ人材の育成が急務です。食の6次産業化の現場で活躍する方、食の6次産業化に興味がある方ならどなたでも対象になります。



### 農林漁業者の方

- 自分で作った農林水産物の加工にチャレンジして収入を増やしたい！
- 新鮮な農林水産物を消費者に直接販売したい！



### 食品産業、外食産業、流通・小売業、商工業などで働く方

- 農林漁業者とコラボレーションして地元の特産品を活用した商品・サービスづくりをしたい！



### 行政機関で働く方、農協・漁協で働く方、コンサルタントの方、金融機関で働く方

- 地元の生産者と一緒に地域ブランドを作りたい！
- 地域おこしに貢献したい！

- 農林漁業や食品関連の仕事に就きたい！



### 高校・専門学校・大学などに在学中の方

- 農林漁業や食品関連の仕事に就きたい！
- 卒業したら何をしようかな？

食分野で新しい価値を創造する  
「食の6次産業化プロデューサー」を目指しませんか？

## 食Pro.に取り組むメリットは？

食Pro.に取り組むことで、今の自分の「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」を客観視でき、将来のキャリア・パスや成功のモデルが明確になります。また、認定を受けることで、次のようなメリットが広がります。

- 食Pro.として自己の能力・スキルをPRすることができます。
- 名刺に食PRO.のロゴマークを入れられます。
- 食Pro.サイトにレベル毎に氏名等が掲載されます\*。
- 消費者や取引先からの信頼性が高まり、ビジネスパートナーを見つけやすくなるなど、ビジネスの発展・拡大が期待されます。
- 法人での処遇の改善や採用のチャンス拡大が期待されます。

\*掲載にあたっては、事前了解を得ます。

消費者や取引先からの信頼性が高まる

自己の能力・スキルをPR

採用チャンス拡大



詳しくは、ホームページをご覧ください。



<http://www.6ji-biz.org/>

食プロ

検索

**FACP**  
一般社団法人  
食農共創プロデューサーズ  
Food & Agriculture Co-creation Producers

〒102-0083  
東京都千代田区麹町  
4丁目5-20 KSビル2階  
Tel : 03-6272-6820 (代表)  
Mail : info@facp.or.jp

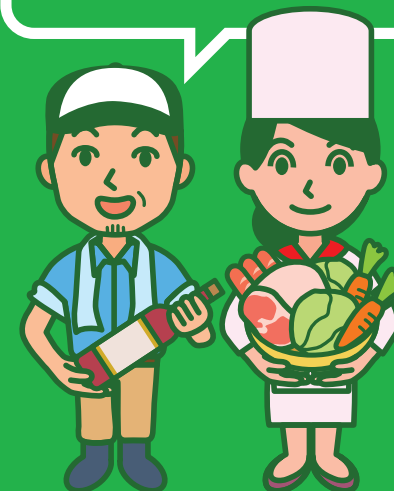
食PRO.

国家戦略・  
プロフェッショナル検定

# 食の6次産業化 プロデューサー 申請受付中!

食Pro.は、「食の6次産業化」  
分野の人材の育成、  
キャリア・アップを支援する  
検定制度です。

食Pro.になろう!



<http://www.6ji-biz.org/>

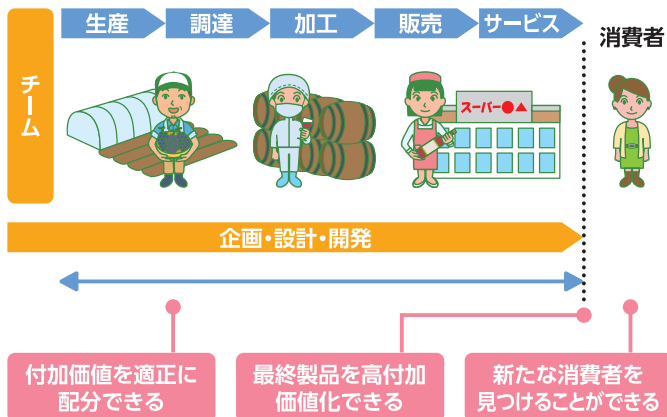
# 食Pro.とは？

「食の6次産業化プロデューサー(愛称:食Pro.)」は、国家戦略・プロフェッショナル検定のひとつで、食の6次産業化を担う人材の認定、育成を目的としています。



食Pro. のプロレベルは、生産(1次産業)、加工(2次産業)、流通・販売・サービス(3次産業)の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出する方のことです。

## 食Pro. に求められる人材像



# レベルによる違いは？

レベル1～3では、育成プログラムを受講して基礎から体系的に学びます。レベル4以上はプロレベルで、実績やスキルについて面接試験で評価を行います。実績をお持ちの方は、レベル4から取り組むことができます。

## レベルごとの人材イメージ

レベル	特徴	食の6次産業化プロデューサーの人材イメージ	
レベル6	● トップ・プロフェッショナル	● 組織内外で後進を育成 ● 他の農林漁業者に対して「食の6次産業化」の手法・戦略を指導	
レベル5	● 高度な専門性・オリジナリティ	● 商品のブランド化 ● 他の法人のビジネスパートナーとして活躍 ● プロジェクトを多角化し、複数の商品や分野(観光・輸出等)に進出し、継続的な実績	
レベル4	● 一人前の仕事ができる段階 ● チーム内でリーダーシップ	食の6次産業化に関する経験や実績があり、事業化、マネジメント、コンサルティングなどの成果を出している	
レベル3	● 指示等がなくとも、一人前の仕事ができる段階	「わかる」 ● ビジネス計画書の作成 ● 商品開発、マーケティング戦略	「できる」 食の6次産業化に関する経験や実績がある
レベル2	● 一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる段階	「わかる」 ● 関連法規 ● 収支計画 ● 経営計画	「できる」 大学の演習等も含み、何らかの食の6次産業化に関する経験や実績がある
レベル1	● 職業準備教育を受けた段階	「わかる」 ● 6次産業化の基礎 ● 食品安全、衛生管理	「できる」 実習等による経験

**レベル2** 例えは？

- 将来に向けて大学などで勉強中
- 道の駅への出荷、一次加工にチャレンジ

**レベル3** 例えは？

- 商品開発や直接販売を実践
- 法人や支援機関のスタッフ

**レベル4** 例えは？

- 法人化して黒字化に成功!
- プロのコンサルタントとして活躍!

# 認定を受けるには？

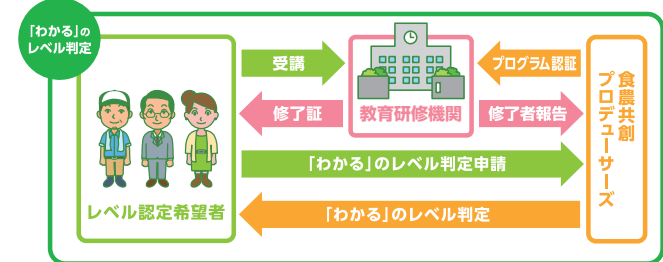
まずは、自身が取り組むレベルを決め、必要な手続きを確認します。ホームページでマイページ登録を行い、申請書のダウンロード、レベル判定の申請を行います。

## 各レベルに必要なレベル判定は？

レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4・5
わかる	○	○	○	— (対象外)
できる	— (対象外)	○	○	○

- レベル1は「わかる」のみ、レベル2、3では「わかる」と「できる」、レベル4・5では「できる」のみのレベル判定が必要です。
- レベル6の評価判定方法は検討中です。

## 「わかる」のレベル判定を受けるには？



- 教育研修機関等が提供する「育成プログラム」を受講し、修了した上で、食農共創プロデューサーズにレベル判定を申請します。
- 「育成プログラム」は、学習内容、講義形式、履修時間等が基準を満たしていると認められたものです。

## 「できる」のレベル判定を受けるには？



- 申請書、必要書類を整え、直接、食農共創プロデューサーズにレベル判定を申請します。
- レベル2・3では、認定審査員による書類審査によりレベル判定が行われます。
- レベル4・5では、書類審査のほかに、面接試験(1時間)があります。